

## ひろしま自然保育 活動報告書

社会福祉法人 MONDEN 会

幼保連携型ゆめはうす認定こども園

### 【平成30年度自然保育活動概要】

ゆめはうす認定こども園は新興住宅地にあるため周りには人工物が多い中で、身近な自然に目を向け、子どもらしさを存分に出せる環境を整備する事に努めました。

#### ○東尾道公園



保育参観日に親子で近くにある東尾道公園に自然探しに行きました。

1月という事で、「冬の公園にどんな自然があるの?」という声もありましたが、実際に行ってみると、落ち葉でも緑の葉っぱや、赤い葉っぱ、枯れて茶色になった葉っぱがあり、木の実も赤い木の実に白い木の実、山茶花も綺麗に咲き、今まで何気なく見てきたものの中に色々な自然があり、一つひとつの違いに、親子でそのことについて話しながら、公園を散策しました。



落ちていた葉っぱや木の実、木々を園に持って帰り、それを使ってままごとをしたり、玩具と一緒に作ったりして遊びました。

また、発表の場を作り、親子でどんな遊びをしたかみんなに伝えました。



## ○田植え稲刈り

地域のおじいちゃんのご厚意で毎年、田植え稲刈りの経験をしています。

周りにあった田んぼや畑は住宅が建ち、最近では作物を見るのはスーパーマーケットくらいしかない子ども達。お米はどんな風にしてできるのか、体験を通して学びます。

初めて感じる田んぼの泥の感触を味わいながら、一株ずつ丁寧に植えていきます。



「足が重たいね」

「泥が気持ちいいね」

今、感じた事をその場で友達と伝え合いながら、共感することで自然体験と同時に人間関係も学んでいきます。

田植え体験が終わると、田んぼという自然フィールドで泥んこ遊び。田植えの時の真剣な表情とは一転、キラキラと輝く無邪気な笑顔があふれます。



泥に足をとられながらのかけっこ、クラスで一番走るのが早い友達も今日は違います。

全身を使って泥、水、風、太陽を感じました。



## ○ゆめはうす認定こども園 園庭

雨上がりの園庭に大きな水たまりができました。今までなら水たまりがなくなるまで待っての外遊びでしたが、自然保育に関する研修を重ねる事で、職員の自然に対する見方も変化してきました。子どもにとっては水たまりも楽しい遊び場の1つ。



水たまりをジャンプして飛び越えます。それを見ていた友達が集まって競うように水たまりをジャンプ。

始めは靴が濡れないように遊んでいましたが、少しずつ水たまりに入ってみたくなくなってきました。水面に映る自分を見ながら・・・最後は靴

を



脱いで豪快に水たまりに入りました。満足そうな顔が全てを物語ってくれています。

今後の課題として、多様性のある自然を取り入れた園庭を目指していきたいと思います。

